

令和6年度 決算報告

今号では、安来市の財政状況をお知らせします。市の財政は「一般会計」「特別会計」「公営企業会計」の3つの財布で管理しています。3つの決算を振り返り、市民の皆さんに納めていただいた税金や、国・県からの支出金などがどのように使われたかを報告します。

この他にも、さまざまな角度から財政状況を分析しています。詳しくは、市ホームページ（右2次元コード）で公開していますので、ご覧ください。



一般会計は黒字決算

歳入	—	歳出	—	翌年度繰越	=	約4.0億円の黒字	一般会計の決算額は歳入が歳出を上回る黒字決算となりました。
295.7億円 前年度比22.0億円		291.3億円 前年度比24.4億円		0.3億円 前年度比△0.5億円		前年度比△1.9億円	

安来市の蓄え＝基金

基金現在高

基金とは、将来の財政負担や不測の事態に備えて積み立てるお金のことです。特定の目的のための基金と、災害対応など緊急時に備える基金があります。

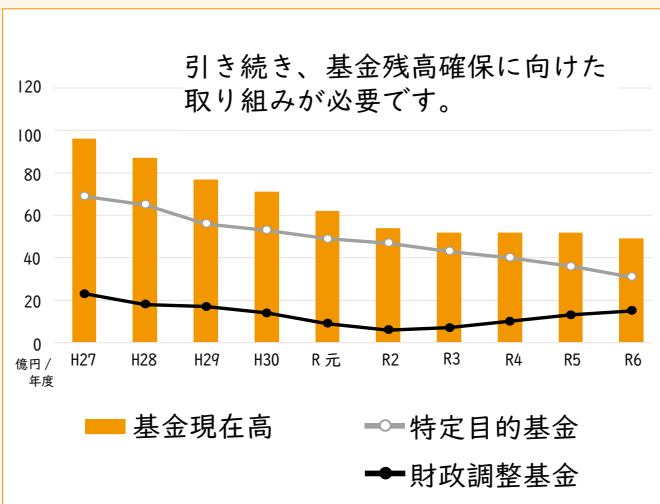
基金全体の残高は49億4,899万円で前年度比2億5,222万円の減となり、平成28年度から減少傾向にあった残高はほぼ横ばいになりました。

特定目的基金

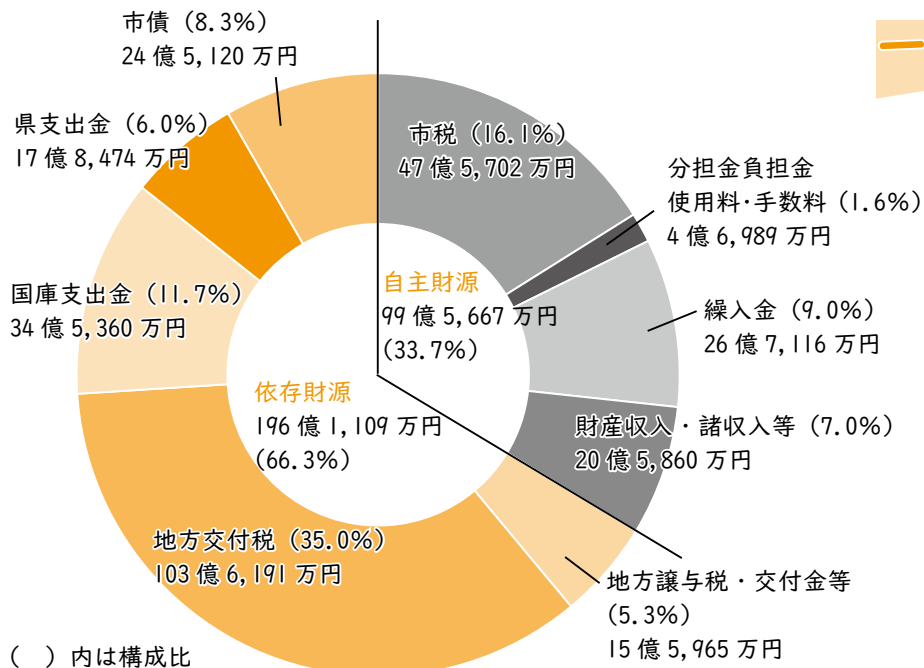
基金のうち、地域振興や市有財産整備など特定の目的を達成するために積み立てしている「特定目的基金」は、前年度比5億184万円の減となりました。基金の残高は減少し続けており、取崩しを抑えて残高を確保することが課題です。

財政調整基金

基金のうち、災害など不測の事態に備えて積み立てしている「財政調整基金」は、前年度に引き続き、取り崩しをすることなく、積み立てのみを実施しました。そのため、残高が15億3,190万円となりました。



一般会計 歳入



歳入総額 295 億 6,776 万円

主な増減（前年度比）

- ◆繰入金 160.4%増（16 億 4,541 万円）
基金再編に伴う繰入金の増など
- ◆交付金等 18.8%増（2 億 189 万円）
地方特例交付金の増など
- ◆市債 30.3%増（5 億 7,000 万円）
消防施設整備事業債の増など
- ◆財産収入 16.7%減（531 万円）
土地売買収入の減など

（ ）内は構成比

自主財源は市に権限があり独自に確保できる財源で、依存財源は国や県の基準で交付・割り当てられる財源です。

※金額と構成比は表示の単位未満を四捨五入しています。そのため合計金額が一致しない場合や、構成比の計が 100.0%とならない場合があります。

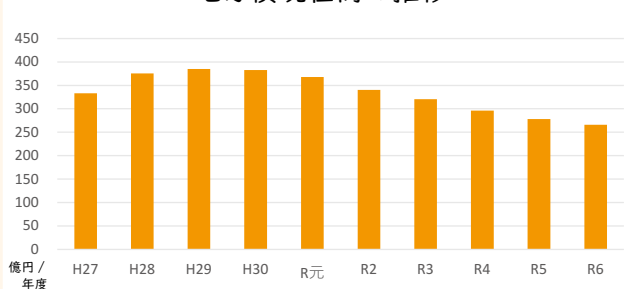
歳入の種類

- ◆市税…市民税、固定資産税、軽自動車税、市たばこ税、入湯税
- ◆分担金負担金・使用手数料…公共事業や施設を利用する人が負担するお金
- ◆繰入金…基金から取り崩したお金
- ◆諸収入等…ふるさと寄附金、前年度決算剰余金、貸付金元利収入、国や県を除く団体からの助成金など
- ◆地方譲与税・交付金等…国や県が徴収した特定の税

金を一定の基準で地方団体に配分する譲与（交付）金

- ◆地方交付税…国が地方に代わって徴収する地方税
- ◆国庫支出金…事業を実施するために国から支出される交付金、補助金等
- ◆県支出金…事業を実施するために県から支出される交付金、補助金等
- ◆市債…道路や公共施設などの建設事業のために外部から調達する借入金

地方債現在高の推移

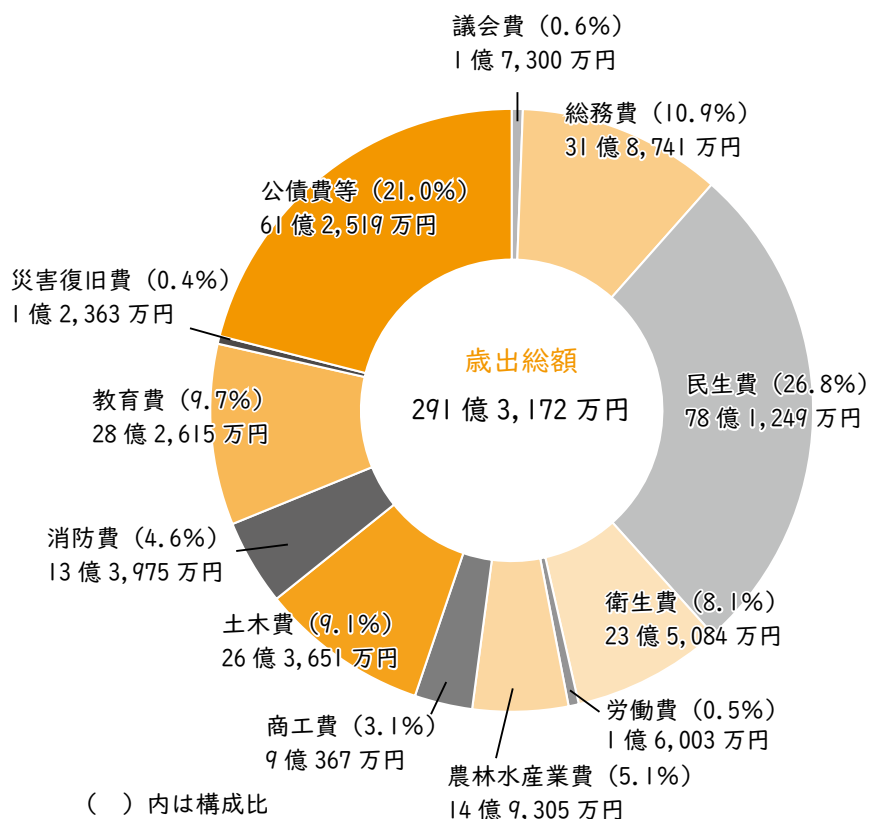


安来市の借金＝地方債

道路や公共施設などの建設事業のために、外部から借金をし、返済が後の年度になる負債を「地方債」といいます。

平成 29 年度末の 385 億円がピークだった地方債現在高。近年では新たな借り入れを抑え、繰上返済を進めた結果、令和 6 年度末の地方債現在高は約 266 億円まで減少しました。

これは、平成 16 年の合併以降で最も少ない残高です。



一般会計 歳出

歳出総額 291億3,172万円

主な増減（前年度比）

- ◆総務費 24.4%増（6億2,558万円）
定額減税補足臨時特別調整給付金費の増など
- ◆農林水産業費 21.3%減（4億479万円）
特別会計繰出金（農業集落排水事業）の減など
- ◆商工費 23.2%減（2億7,223万円）
やすぎ家計応援商品券事業費の減など
- ◆消防費 38.4%増（3億7,152万円）
非常備消防施設費の増など

※金額と構成比は表示の単位未満を四捨五入しています。そのため合計金額が一致しない場合や、構成比の計が100.0%とならない場合があります。

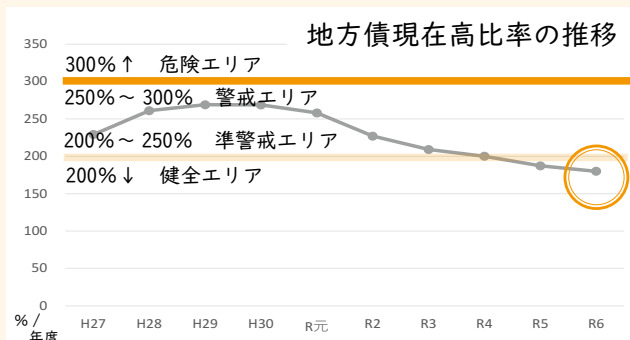
歳出の種類

- ◆議会費…議会の費用
- ◆総務費…職員管理、税務、総務、企画などの費用
- ◆民生費…福祉や保育などの費用
- ◆衛生費…保健衛生、健康増進、環境対策、ごみ処理などの費用
- ◆労働費…労働者福祉などの費用
- ◆農林水産業費…農林水産業の振興などの費用
- ◆商工費…商工業・観光の振興などの費用
- ◆土木費…道路や橋、公園の建設・維持管理、都市計画などの費用
- ◆消防費…消防や救急などの費用
- ◆教育費…学校教育、社会教育、人権教育、文化振興などの費用
- ◆災害復旧費…自然災害の復旧工事などの費用
- ◆公債費等…市の借金返済の費用

将来の返済負担を知る

地方債現在高比率とは、一般会計の年度末地方債現在高（市の借金残高）が標準財政規模（市の平均的な年間収入）に占める割合のことです。

この比率は、将来の返済負担がどの程度かを把握するための指標になります。令和元年度末まで警戒エリアに上昇していましたが、令和5年度末には健全エリアに改善し、令和6年度末も継続して健全エリアを維持しています。



令和6年度の主な事業

令和6年度に実施した事業の一部を紹介します。

フレイル予防事業

健康寿命の延伸を目指して、介護予防事業のモデル実施や後期高齢者のフレイル状態の調査、フレイルセルフチェックアプリを開発しました。

1,167 万円



出産・子育て応援交付金事業

出産育児関連用品の購入費や子育て支援サービスの利用負担の軽減を図るため、出産・子育て応援給付金を支給しました。

1,417 万円



比田防災拠点施設整備事業

中山間地域の防災体制の充実と強化を図るため、広瀬町西比田地内にヘリポート、消防比田分駐所、消防比田分団拠点施設を整備しました。

2 億 9,834 万円



観光地・観光産業の再生・高付加価値化補助事業

地域・産業の「稼ぐ力」の回復・強化を図ることを目的に、宿泊・観光施設の客室や外観の改修費用の一部を補助しました。

3,128 万円



企業立地雇用促進奨励金事業

3,952 万円

企業の新設等に伴う投資額や新規雇用従業員数に応じた助成、空き工場等の家賃補助を行い、企業の設備投資と雇用増大を図りました。

安来港飯島線道路改良事業

1 億 8,902 万円

交通量が多く、通学路としても利用される当路線について、令和6年度は主に吉田橋橋りょう上部工事と道路改良工事を行いました。

空家等対策事業

啓発用の冊子「住まいの引き継ぎノート」を作成・全戸配布し、空き家の発生抑制を啓発しました。

629 万円



統合型 GIS 構築事業

誰もが簡単に利用できる「やすぎデジタルマップ（市道認定情報やハザードマップなど）」をインターネット上に公開しました。

409 万円



財政健全化

財政健全化は、法律で定められた指標である実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率を見て判断します。（下表参照）

健全化判断比率（健全化を判断する数値）（国の基準を下回っていればいるほど健全な財政とされている）

項 目	用語解説	市の決算比率（※）	国の早期健全化基準	国の財政再生基準
実質赤字比率	一般会計を中心とした赤字の割合	赤字なし	12.79%	20.00%
連結実質赤字比率	一般会計のほか、特別・企業会計も含めた全会計の赤字の割合	赤字なし	17.79%	30.00%
実質公債費比率	標準財政規模 [※] に対する借金返済額の割合	12.1% (3カ年平均)	25.0%	35.0%
将来負担比率	標準財政規模 [※] に対する将来に負担が見込まれる負債（借金）の割合	82.3%	350.0%	—

（※：市の平均的な年間収入）



特別会計・公営企業会計

安来市の会計には、一般会計のほか、国民健康保険事業や介護保険事業などの「特別会計」と水道事業や病院事業などの「公営企業会計」があります。

いずれも国民健康保険税や介護保険料、水道料金、医業収入など特定の収入を財源に事業を行っており、その収支状況を明らかにするため一般会計とは分けています。

(万円)

会 計 名		歳入（収入）		歳出（支出）	
		令和6年度	対前年度増減	令和6年度	対前年度増減
特別会計	国民健康保険	40億7,204	△4,129	39億8,330	△6,310
	後期高齢者医療	13億3,921	8,082	13億2,106	7,944
	介護保険	52億1,174	△5,384	50億9,391	△130
	電気	3億8,902	1億6,525	3億8,071	1億6,452
	母里財産区	92	△19	42	22
	井尻財産区	19	1	5	3
	赤屋財産区	14	10	3	0
公営企業会計	水道（収益的）	10億7,511	373	10億5,583	2,922
	水道（資本的）	4億8,015	△393	9億450	5,148
	下水道（収益的）	17億7,628	6億6,450	16億7,199	7億142
	下水道（資本的）	15億7,585	1億3,522	21億3,396	2億4,109
	市立病院（収益的）	27億5,024	8,554	26億8,248	1億21
	市立病院（資本的）	3億3,547	4,252	4億8,525	5,356

市の財政状況について

国の基準では、6ページの財政健全化の指標が、「早期健全化基準」を超えると自主的な改善努力が求められ、さらに「財政再生基準」を超えると財政再生計画を策定し、国の管理のもと財政再建を目指すことになります。

令和6年度の財政健全化判断比率はすべて国の基準内にあり、この点では財政は健全と言えます。しかし、財政健全化は、単にこれらの基準をクリアすることだけではなく、基金残高、地方債現在高、地方債現在高比率のほか、財政力指数（自治体の財政力を示す指数）や経常収支比率（財政構造の弾力性の程度を示す指標）など、さまざまな視点で評価することが重要です。また、中長期的な財政運営や安定した住民サービスの提供も欠かせません。

令和6年度の決算を踏まえた市の財政状況は、人件費や物件費などの義務的経費の占める割合が増加傾向にあり、将来のまちづくりに向けた基金残高の確保が課題です。引き続き、歳出の見直しによる構造改革と基金残高の確保を図り、中長期的な視点で安定した財政基盤の構築とまちづくりに取り組んでいきます。

問い合わせ 財政課 Tel 23-3025